

■「日本と再生」上映会 開催報告 ～どうせ勝つ闘い!～

「脱原発、再生可能エネルギーの普及にこそ未来があるとわかった」、「これからの展望が見えて、元気のである映画だった」・・・7月11日にNPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所が主催した映画『日本と再生』上映会は参加者に大きな勇気と感動を与え、約240名の参加で成功しました。



「日本と再生」のパンフレット表紙

この上映会は、当NPO 法人の市民発電所3号機が、年内にも「うしおだ診療所」の屋上に建設されることが決定したことを記念するイベントとして、公益財団法人・横浜勤労者福祉協会との共催でおこなわれました。



監督・河合弘之（弁護士）さんの情熱あふれる講演をお聞きし、参加者一同、勇気と感動をもらいました。

上映会には、この映画の監督を務めた河合弁護士も参加、講演をおこなっていただきました。河合弁護士は、日本各地の原発訴訟に取り組む一方、これまでもドキュメンタリー映画「日本と原発」、「日本と原発 4年後」を制作、今回が原発を題材にした3作品目の映画となりました。これまでの原発の問題点を掘り下げる映画ではなく、今回は「原発を無くしたあと、自然エネルギーで十分にやっていけることがわかる」映画となっており、ドイツ、デンマーク、アメリカ、

中国などですすむ「再エネ革命」を現地へ行き取材して事実を積み上げ「原発がなくなっても平気」だということを上手に描いた映画となっていました。

河合弁護士は講演の中で、福島第一原発事故を契機に、脱原発、再生可能エネルギー普及へと国家として舵を切ったドイツに対して、日本国内では2つのデマがあると指摘。



1つは、フランスの原発の電気をドイツは輸入しているから脱原発ができるというデマ。もう1つは、自然エネルギーは不安定で使い物にならないというデマ。その2つのよくある疑問を、映画の中で河合弁護士はドイツの専門家にぶつけ、「またその質問か、そんなことはない」と言われる様子がでてきます。島国の日本と異なり、EU 諸国は送電網でむすばれ常時、国を超えた電力の売買や融通がおこなわれ、ドイツがフランスから輸入する電気もあるが、その多くはフランスがドイツを経由して他国へ輸出している電気であり、フランスとドイツの二国間で見るとドイツの側が輸出超過になっているという事実。ヨーロッパでは、日本のようなベースロード電源という考え方はなく、1つ1つはその時々々の自然環境によって出力が不安定な太陽光や風力も、まとめれば一定の安定性があり、気象予報を活用して自然エネルギーを優先して使用、他の電源や他国との電気の輸出入で需給を調整する「フレキシビリティ」という考え方が主流になっていると河合弁護士は語りました。

さらに、「原発は危険だから自然エネルギー」というだけでなく、世界的には自然エネルギーの大量普及、技術学習効果によって自然エネルギーの発電コストが低下、経済的にも「原発よりも自然エネルギーの方が儲かる」ということが社会の常識になりつつあるそうです。太陽光パネルは、1975年からの40年間で生産コストが200分の1にまで下がりました。こうした技術学習効果は原発では現れず、逆に原子炉の生産コストは上昇傾向にあります。

経済的な優位性のある「再エネ革命」は誰にも止められない、脱原発・再生可能エネルギー普及という考え方は世界の大きな潮流に乗っており、日本国内では原発再稼働など一時的な逆流はあるが、“どうせ勝つ”闘いであり一喜一憂することはない、と河合弁護士は訴えました。



「うしおだ診療所」の相楽さんよりご挨拶



当NPO法人の川岸理事長より活動紹介



当NPO法人が制作した「パンフレット」を配布し、田中副理事長から『浜岡原発の危険性』を訴えました。

また、上映会では、当NPO法人がこれまで調査・研究をおこなってきた『浜岡原発は川崎市民にとって特別な危険性がある』という点について、到達点をまとめたパンフレットが参加者に配布され、田中副理事長より説明もおこなわれました。

監事 鴨下 元



■9/16「おひさまフェス×
星空上映会 in かわさき」
今年も開催します！！

日時：9月16日（土）
14：00～19：30
※荒天時は9/17に順延

場所：ニヶ領せせらぎ館下多摩川河川敷
JR南武線、小田急線「登戸駅」
から徒歩8分

主催：おひさまフェス×星空上映会 in
かわさき実行委員会

共催：NPO法人多摩川エコミュージアム

後援：川崎市教育委員会、神奈川新聞社

change the future, after 3.11
おひさまフェス
movie & festival X renewable energy
星空上映会 inかわさき
2017

市民がつくった
再生可能エネルギーを
使った
音楽イベントと
映画上映会

多摩川で
地域がつながり
人がつながる

暮らしたい未来は
自分たちで創れる！
そんな想いを込めて

おんがく
こどもひろば
たべもの えいが

9月16日(土) 14:00~19:30
※荒天時は9月17日(日)に順延
ニヶ領せせらぎ館下多摩川河川敷
JR南武線・小田急線登戸駅より徒歩8分
入場無料

主催：おひさまフェス×星空上映会 inかわさき実行委員会
ohisama.hoshizora@gmail.com http://ohisamahoshizora.strikingly.com/
共催：NPO法人多摩川エコミュージアム 後援：川崎市教育委員会・神奈川新聞社

テーマ：change the future, after 3.11

14：00～ **おひさまフェス**

☆音楽イベント☆

6グループ ※チラシをご欄ください。

☆飲食☆販売☆展示☆参加型ブース☆

ハーブソーセージドッグ、缶ビール、酒、ベーグル、クッキー、ケバブ、じゃがバター、べっこう飴、他。
再エネ広場、キッズブース、防災ブース、脱原発ブース、他。
(8/15 時点)

18：00～19：30 **星空上映会**

※上映内容はチラシをご覧ください。

このお祭りの電気は、自然エネルギーを目指す市民が協力して建てたソーラー発電所（NPO法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所2号機）の電気を使用しています。

14:00～ おひさまフェス

- ・和光中学校吹奏楽部
- ・宿河原車匠水鼓と和太鼓仲間
- ・専修大学混声合唱団かっぴコーラス
- ・キューキョススポーツダンス教室チーム
- ・ザ・思いやりバンド
- ・放送電線ライフ!

18:00～ 星空上映会

- ・エトワカール作品展(はらぺこあおむし他)
- ・木を植えた男
- ・ニヶ領ガッパと秘密のトンネル

「おひさまフェス×星空上映会 in かわさき 2017」は、再生可能エネルギーを用いたイベントを行う中で以下を目指します。

1. 震災からの復興に心を寄せ、再生可能エネルギーへの関心を高める。
2. 「川崎らしい」多摩川の河川敷を会場とし、身近にある自然に親しみ魅力の再発見をする。
3. こどもたちが自然の素材を使った遊びの楽しさを経験し、感動する心を育む。
4. 様々な市民団体や個人の横のつながりをつくり、「コミュニティ」力の発展・強化につなげる。

エトワカール作品展(「はらぺこあおむし」「うたがみえる、きこえるよ」他)

「日曜日の朝にたまごからかえった。むしはおなかをこべこべ。食べるものを探し始めます。月曜日にはりんごをひとつ、火曜日には梨をふたつ…。食べても食べてもはらぺこのあおむしは土曜日には食べ過ぎておなかを壊してしまいます。あおむしはすっかりふとっちょになり、さなぎへと変化します。そしてとうとう、きれいなちょうちょに変身したのでした。」



木を植えた男 (フレンチエトワカール監督作品)

フランスの山岳地帯を旅する若者が出会った男の30年にも及ぶ行動を通して、人間の創造力の偉大さと環境問題をテーマにした87年アカデミー短編賞(アニメ部門)受賞作。人里離れた荒野に住む初老の羊飼いわか。彼は荒れ果てた大地にたった一人で木を植えていた。目的など多くを語らない彼の信念を貫くその行動は、二つの大きな戦争の間も続き、中年になった若者が再びその地を訪れた時、不毛の大地はまさに楽園に変身していたのだ。

ニヶ領ガッパと秘密のトンネル(よしだちなつ・実行委員会自主制作作品)

ニヶ領用水に住むニヶ領ガッパから質問。「とっても便利で強い力を持っているし、絶対に安全。事故が起きることもないだろう。みんなの暮らしがよくなる」そんな発電所を、多摩川に「建ててか、建てないか」「建てると答えて秘密のトンネルを掘ると、誰も住めない街になっていた…。」「自分で考え選択することで未来が変わる」メッセージを込めた、川崎市高津区在住のよしだちなつさん&実行委員会自主制作作品。



協力・出店：やろうよ!こどもぼうし、高津循環型社会を考える会、株式会社 太陽住建、NPO法人セカンドリーグ神奈川、自治体問題研究所 川崎支所、脱原発 宮前の会、chocotto、キッズステーションゆら、マジカルポップン、多摩川あゆ工房、ベーグルカンパニー、男の手料理 誰、「福島の子どもたちとともに」川崎市民の会、川崎市住宅相談運営委員会、はぐるま共同作業所、ザ・思いやり、川崎医療生活協同組合、川崎合同法律事務所、NPO法人 川崎フューチャー・ネットワーク、かわさき市民共同おひさまプロジェクト、SALAM KEBAB、かわさき生活クラブ生協、原発ゼロへのカウントダウン、希望のつばさプロジェクト、ミツバチの会 (8/17 時点)

POWERED BY NPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所

このお祭りの電気は自然エネルギーを目指す市民が協力して建てたソーラー発電所(NPO法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所2号機)の電気を使用しています。



■パブコメ（8/26×切）を出しましょう

原子力から自然エネルギーへの移行を目指す『パワーシフト・キャンペーン』から、以下の呼びかけをいただきました。ぜひ、私たちも一人ひとり、意見を出しましょう！

～託送料金に賠償・廃炉費用?! 省令案～

2016年の9月から年末にかけて、原発事故の賠償費用の一部、廃炉費用の一部を「託送料金で負担」という議論があり、大きな論戦となりました。

年末のパブリックコメントに取り組んだかたも多いかと思います。

パワーシフト・キャンペーンは、声明の発信や署名、新電力アンケート（2016年11月）、院内集会開催など活動しました。

その後、2月9日に開催された「電力システム改革貫徹のための政策小委員会」でこのパブコメを受けて「中間とりまとめ」が出されました。（託送料金への上乗せに反対する意見はまったく反映されていません。）

それをもとに、具体的な経済産業省令案となったのが、今回のパブコメ対象です。締め切りは8月26日（土）、一言でよいのでみんなで出しましょう。

▼「電気事業法施行規則」等の一部改正に対する意見の募集について

<http://search.e->

[gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=620117032&Mode=0](http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=620117032&Mode=0)

資料は、省令案のため67ページ、読みにくいものですが、ポイントは以前と変わりません。

▼詳細はこちら：

http://power-shift.org/publiccomment_170826/



【編集後記】

今年の8月は雨の日が16日も続き（都心）、異常なお盆となりました。日照不足による作物の不作等が心配され、私たちの発電所の発電量も気がかりです…。

7/11の「日本と再生」上映会から1ヵ月あまり経ちましたが、開催報告を編集しながら、あの時の感動が蘇ってきました。日本中の大勢の方に観てもらいたい映画です。9/1（金）、厚木市文化会館で2回上映（15時～、18時半～）されます。河合監督のお話も聞けるので、2度でも3度でも、ぜひ観てください。
(加藤伸子)

■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189（川岸）

でん太通信は毎月15日に発行しています。

